

2016 新久 天王様

入間台窯跡公園の接待



毎年7月第3土曜日に入間台窯跡公園にて天王様の巡行を接待しています。接待は自治会役員と事務局会員有志によって設営 料理 飲み物の振る舞いをします。料理の準備は前日金曜日に事務局と有志で行います。宵宮当日は3時から窯跡公園に設営準備します。



料理の内容はきゅうりの漬物（カッパの神様ということで必須）こんにゃく煮物
入間台は煮玉子120個ほどを提供することが恒例になっている。西瓜は大玉を2個昨年から引き売りの小林青果さんに冷やして直接窯跡公園に届けてもらっている。



西瓜は御盆に盛り、人々が集まった時点で神楽の方にも持って配布すると喜ばれる。食べた後の皮集めも大切。手拭き100枚を用意して何カ所かに置いたが、好評だった。箸は東屋の本陣以外は少な目でいい。楊枝が便利だった。



公園奥の石のテーブルは準備の時は配膳台として使い、開催時は新久嚙子の皆さんの休憩所となっていた。今年はここの料理がたくさん残っていたので、途中で他に回せていただいた。ここも敷物を敷いた方がよかったかもしれない。



宵宮の午後から天狗・櫛・獅子・御輿山車などの順で龍円寺を出て、大門坂を下り、八坂神社へ向かう。御神幸の途次、沿道に立つ氏子たちを獅子が噛んで厄除けを行う。山車の上での新久ばやし（市指定無形民俗文化財）のリズミカルな音が地内に響きわたる。毎年午後4時過ぎに山車の行列は二方向から公園に到着する。雨でも同様に行われる。先頭の山車に向って祝詞奏上があり、自治会役員が代表してお祓いを受ける。神主さんが東屋の席に着席してから同行者への振る舞いが始まる。ほぼ1時間ほどの御休憩になる。







神輿は公道を運転して移動する。
 一年に一度だけみられる光景である。
 当番地域の方々を中心に催行される神事
 ボワサン前で3時過ぎ

八坂神社からおりて、いよいよ入間台に入られるが、一時通行止めにはなるが安全協会の皆さんによる先導、安全確保によって行われる。次第に山車を曳く人々が多くなり、100人を超える氏子、囃子手、近隣の人々によって巡行される。

遠くからこの祭を写真撮影に来る人もいる。

安全に厳かにまた楽しく行われている。





旧サイクリングロードの入り口で
入間台への巡行を待つ
この時間がかなり長い
自治会 ことぶき会 子供会 サポートの会の
皆さんで子供たちを誘導しつつ待つ



自治会役員に集ってもらってここで祝詞奏上
をうける。この日は早朝から自治会主催の夏祭
りの櫓立てもある。7月の自治会の大きなイベ
ントがここに始まる。









最近入間台の人々の中にも
新久囃子の一員となってお
囃子の練習を重ね親子で参
加するという地域融合の雰
囲気が出てきた。

次第に入間台の人々の参観
も増え、山車に子供用の
はっぴを着て、親子で巡行
し 祭りを楽しむ姿もある。

子供用の参加賞のような箱
菓子今回は80個用意し
たが50個ほど渡すことが
できた。残りは夏祭りの子
供会に回すこととした。



山車を曳くにはチームワークと力が必要です。

今年はあまり暑くなくて良い日和でした。

皆さんのこの祭を大切にする心が次第に近隣の人々に伝わり、巡行する人々が増えています。

雨天決行 また暑い日の入間台の坂を登るのは大変だとの声もありますが、頑張ってくださいます。

暑い時はチューペットやアイスクリームが好評です。東屋では瓶ビールと日本酒の振る舞いがあり、公園内では缶ビール(発泡酒) ラムネ お茶が人気です。



お立ちの前に、今年は木遣で高月さんがデビュー
されました。公園でいい喉を聴かせてくださいま
した。